



黒森神楽披露

待ちに待った運動会、2回の順延後、新調した衣装を身につけた5、6年生が踊る黒森神楽で幕をあげ、5月24日（月）に行うことができました。

地域の皆様のご好意により運営管理されている学校林の収益で、令和2年度に更新された衣装ですが、コロナ禍の中ご披露する機会がなくなり、残念に思っておりました。今年はやっと、たくさんの方が見守る中で晴れやかに踊りました。風になびく衣装の袖に、伝統を伝える活動が誇らしく、来年もまた見たいと思わせてくれました。



読み聞かせスタート

図書ボランティアふらわ～さんによる読み聞かせが、今年も朝読書として行われています。

月に2回ほど、各学級をまわり、絵本を中心に読み聞かせをしていただいています。長年の活動は子どもたちに本に興味を持たせ、山口小学校の特色の一つである充実した読書活動を支えています。

今年度は読書活動が評価され、山口小学校が文部科学大臣により表彰を受けました。これまで、ボランティア活動として読み聞かせだけでなく、図書関連室の整備や蔵書の修理などを継続してきたふらわ～さんに、改めて感謝いたします。

学習をささえる

1学期には、子どもたちの運動能力を測る時間があります。ボールを投げたり、ジャンプしたり、様々な項目が設定されています。1、2年生はまだ自分たちだけでは計測ができません。一人一人の力を正しく記録するために、ボランティアサポートをお願いしました。

1、2年の保護者、10名が参加し、反復横とびと上体起こしの計測を担当しました。「がんばれ」「もう1回」と声をかけながら計測していただき、予定の時間内に完了できました。

参加したボランティアさんからは、学校でがんばる子どもの姿を見ることができ、いい経験だったと感想を聞かせて頂きました。

今後も、総合の学習や家庭科実習など、学習サポートのボランティアをお願いする予定です。皆様のご協力をお願いいたします。

しいたけ植菌体験

昨年は開催を見送ったふれあい教室「しいたけ植菌体験」を、中沢勤様を講師に迎え、ボランティアサポートの保護者の皆さんに協力して頂いて実施しました。

宮古地方森林組合様が、子どもたちがあつかいやすい太さのホダ木を用意してくださいました。中沢様の説明を聞き、1本1本のホダ木にドリルで穴を開けてもらい、種コマを一つ一つ打ちこみました。ボランティアの皆さんが、目配り、声かけをして大きな怪我も無く、終わることができました。

今年は子どもたちが観察しやすいよう、ホダ木を学年の畑の奥に運び、管理しています。早ければ来年の春、しいたけがでてくるかもしれません。原木しいたけは宮古地域周辺の特産農産物でもあります。地域の産業についても学ぶ機会としていかしていきたいと考えています。

学校運営協議会のキモは熟議

学校運営協議会は学校と地域が育てたい子どもの姿を共有し、実現するために必要な場です。学校運営、その運営に必要な支援に関することを協議します。委員として参画する皆さんは対等な立場で、熟慮と議論を尽くし、問題の解決を目指します。これを「熟議」と呼んでいます。「熟議」では様々な立場の関係者が一つのテーブルにつくことで、新しいアイディアや考え方が生まれることをねらっています。お互いの考えを受け止め、認めあい、そこから始まる議論です。運営協議会は決まったことを承認するだけの場ではありません。「熟議」によって学校運営に参加できる場なのです。

【問い合わせ先】

山口小学校地域学校協働本部

電話 62-2723

地域コーディネーター 佐々木良恵